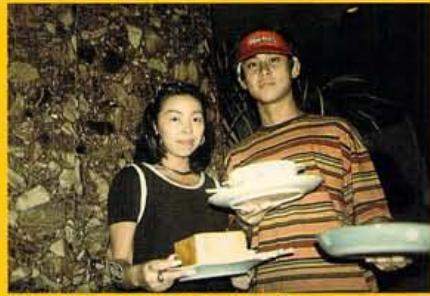




左から紀子、真紀、由美、香苗、真由美の5人は短大時代のグループ。社会人になったストレスの解消には、やっぱボードがいちばん！



ラッパーはじめハードコア・ピーフルの多いボーダー業界の首魁ともなればさぞや…と思いつか、鏡割りに登場したこんなに和やかな面々。



炭化物てんこもりのお皿をもつ永遠(とわ)さんと貴也くん。どこでゲレンデでも、仲のいい姿を見せてくれそうね。今シーズンの目標は？ 彼はファイフ・フオーティ、彼女はスラローム、です。

帽子とラーンがすきなミカとミヨのふたり。「ボトムやつたら足が太くなるぞ」やつらといつづらかな「ダイショーブ」ちめができるだけ…。



毎週日曜には練習している、という熱心なチーム「おいでやす」より。メンバーは現在約30人。初心者のギャルにはとくに懇切丁寧に指導しますで、ぜひご参加を！



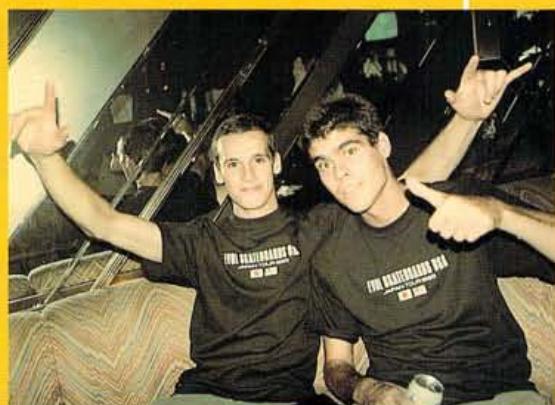
Boarder's Night, It's a Groove!

カレンダーをめくったとたんに「ア・キ～！」になってしまったこの9月。久々の3連休を楽しんだ人も多かったろうが、17日の夜のマハ・ギオほどの盛り上がりは果たしてあったかな？

そう、この晩のマハラジャ祇園は待ちに待ったボーダーズ・ナイト。村上国次プロ率いるエスペランサの主催とあって、集まつたのはビギナーからプロまでのスノーボーダーはじめ、スケーターにサーファー、今が遊び盛りの面子ぞろい。御大マーキーの発声による鏡割りで幕を開けた、とにかく楽しければえ！ のノリでめちゃりんこに楽しいパーティーナイトとなつたのである。

「今日集まつてくれたコは、みんな友達やん」

主催者が言うように、型にはまらないボーダレスな友情が、会場を盛り上げまる。ディスコ・タイムに続いて、20名以上のプロたちが提供してくれた各種ボードやスーツなどを、ハンマーブライスでオークション。収益の一部は、神戸への義援金として送られる。さらにミス・ストリートの選考、抽選会、ライブ…と、楽しくって、やさしくって、スリリングな一夜、存分にお楽しみいただけましたでしょうか？



エディル・ダイアン（左）とライアン・フェイブリーは、ノルウェイとアメリカから参加してくれたE VOL所属のプロ・スケーター。大阪でのデモ、東京の大会をひかけ、パーティーでちょっと息抜き。



「今年の抱負はリフトの乗り降り！」と、かましてくれたスノーボード歴6年目のグループ。ボードをバックされたばかりのメンバーもいるけど元気でよかったです。

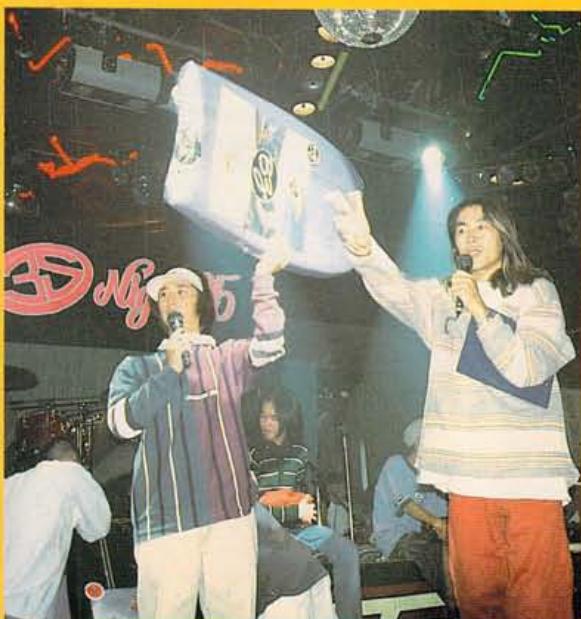




沖田まゆみ・ひとみ姉妹を中心、ボディ・ボード仲間の4人。この冬はスノボ?と聞いたら「パリでボディボード!」とリッ奇なお答。



撮影直後、パンザ~イ!と叫んでくれためんこい皆さん。いい男もゲットしてくださいね。「Fineですか?」ゴメン、Fameです。



とにかく、ちょっとでもキャッシュを持ってる者の勝ち。レアな板やスーツ、お値打ちもの数々が福澤諭吉1枚で買えたのは、この日だけ。



美しい京都の集合場所を実感させてくれた夜の、陰の立役者。18時30分の開場から25時まで受付でがんばってくれたエスペランサのスタッフたち。



8月2日でおなじみのマーキー氏。こうした場には欠かせない「朝」ですが、エアロビ選手権の司会もやればT.Rextasyのライブにも出没したのを、わたしは見た。



「写真やで~!」の一言で集まつたおなじみ3人を含むわけのわからない暴徒(?)たち。この迫力で今年こそ、大会に出たいもんです。



SNOW BOARD
ESPERANCA
SHOP

